

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤 敦美

重点事業の概要 [事業名：生涯学習支援事業] [目標値：アンケートの実施1回]

- この事業は、リープロ5「未来を創る人を育てるプロジェクト」に位置付けられた取組みである学習機会の充実を図るために実施する事業です。具体的には、市民の学習ニーズを把握し、必要な情報の収集・提供に努め、市民の主体的な学習活動を支援します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	各種講座や教室、その他講演会などの学習に関する情報を市報、ホームページ、チラシ等で市民に提供した。 まちづくり推進センターにおける各種講座・教室やサークル活動を「まちづくり推進センター活用ガイドブック」として冊子にまとめ、市民に情報提供した。
	自己評価	まちづくり推進センター職員会議などにおいて、多様な学習プログラムの企画や主体的な学習活動への支援の方法について情報の交換・共有化を図っている。
	下半期への対応	市民協働推進課と連携し、市民の学習ニーズを把握し、まちづくり推進センターにおける地域住民の主体的な学習活動の支援を行う。
下半期	取組実績	毎月行われるまちづくり推進センター職員会議において、学習講座や教室を充実するために各種情報を提供し、社会教育の視点を踏まえた助言・指導を行った。また、講座・教室の企画等の参考にするため、勤労青少年ホームの利用者や人権・同和問題学習会等の参加者に対しアンケート調査を行った。
	自己評価	市民の生涯学習を支援するため多様な学習機会を提供した。
	目標値の達成状況	各種講座・教室、講演会等の参加者のニーズを次年度の事業計画の参考とすることができた。
	次年度への対応	地域住民の課題解決や学習ニーズに対応した各種講座等を企画・立案し、生涯学習事業をより効果的に展開する。 学習の成果を地域社会に活用する仕組みを探る。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

市民ニーズの把握に努め、まちづくり推進センターにおける事業としての定着に努めること

下半期

まちづくり推進センターを中核とした生涯学習関連講座等の成果を地域へ還元できる仕組みづくり等についても検討を重ねること。

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤 敦美

重点事業の概要 [事業名：放課後児童健全育成事業] [目標値：750人]

○ この事業は、リープロ5「未来を創る人を育てるプロジェクト」に位置付けられた取組みである留守家庭児童の居場所づくりの充実を図るために実施する事業です。具体的には、共働きなどによる留守家庭児童が、放課後や土曜日、長期休業中などに、安心して過ごすことができる「なかよし会」の充実を図り、運営団体である鳥栖市放課後児童クラブ運営協議会へ支援を行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	利用者増に対応するため、クラブの分設（旭小C）を行うとともに、指導員配置の見直しを行った。放課後児童クラブ運営協議会に対し補助金を24,000千円（概算）交付した。 夏休み期間中は、利用者増に対応するため、鳥栖小Bクラスを分設した。なお、4年生まで受入を行い、利用申込総数は899人（うち4年生130人）だった。 子ども・子育て支援事業計画における量の見込に対応した確保方策を検討した。
	自己評価	放課後や土曜日、長期休業中に安心して過ごす生活の場を提供することができた。
	下半期への対応	「なかよし会」の運営団体である運営協議会の支援を行うため、適正な補助金を交付する。 子ども・子育て支援事業計画策定作業を進める。
下半期	取組実績	放課後児童クラブ運営協議会に対し運営補助金を17,397千円（概算）交付した。平成27年度の「なかよし会」の円滑な運営に向け関係部署と協議を行った。新基準にそった事業運営のため、対象年齢の拡大、定員、クラブ増設、放課後児童支援員の配置等について次年度の事業方針を決定した。 子ども・子育て支援事業計画策定を進めた。
	自己評価	留守家庭児童の居場所を提供することができた。
	目標値の達成状況	本年度の入会申込児童総数は1,036人だった。（1月26日現在）
	次年度への対応	「なかよし会」の充実と運営団体である鳥栖市放課後児童健全育成事業を行う運営団体へ支援を行う。 また、なかよし会の運営の在り方について関係部署と協議を行う。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

子ども・子育て支援計画の策定、及び市としての今後の放課後児童健全育成事業のあり方について検討を重ね、計画を策定すること。

下半期

来年度は、法律改正後の放課後健全育成事業となり、一定の見通しは立ったものの、指導員の確保等引き続き対策強化を図ること。

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤 敦美

重点事業の概要 [事業名：放課後児童クラブ基準条例制定事業]

○ この事業は、リープロ5「未来を創る人を育てるプロジェクト」に位置付けられた取組みである留守家庭児童の居場所づくりの充実を図るために実施する事業です。具体的には、児童福祉法等の改正により、放課後児童健全育成事業の設備及び運営について、厚生労働省令で定める基準を踏まえ条例で基準を定めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	鳥栖市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定した。
	自己評価	計画どおりに制定事業が完了した。
	下半期への対応	子ども・子育て新制度における新基準にそってスムーズな運営を行うため、必要な環境・体制の整備を行う。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

施設の運営体制等の整備を進めるとともに、今後の民間参入を前提とした関連規程等整理を進めること。

下半期

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤 敦美

重点事業の概要 [事業名：勝尾城筑紫氏遺跡保存整備事業]

- この事業は、リープロ6「多様な文化が息づくまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組みである文化財の保護と活用を図るために実施する事業です。具体的には、勝尾城筑紫氏遺跡の保存及び整備活用を進め、地域の活性化に寄与します

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	昨年度に引き続き、史跡の保存整備事業の指針となる整備基本計画に基づいて、葛籠城跡地区の公有化事業について、対象地の立木調査や追跡調査を実施し、地権者との買収交渉を進めた。
	自己評価	概ね計画どおりに進捗している。
	下半期への対応	葛籠城跡地区の保存整備事業を推進させるため、引き続き地権者の方の理解を得るよう努め、計画的な公有化を進めていく。また、10月から葛籠城跡地区の一部について史跡の状況を把握する確認調査を実施する。
下半期	取組実績	葛籠城跡地区の本年度予定分について、地権者の方の理解・協力をいただき、公有化を行った。また、葛籠城跡地区の確認調査を実施し、史跡の未解明部分の把握に努めた。
	自己評価	概ね計画どおりに進めることができた。
	目標値の達成状況	概ね目標どおりに進捗している。
	次年度への対応	葛籠城跡地区の保存整備を推進させるため、引き続き地権者の方の理解を・協力を得るよう努め、計画的な公有化を進めていく。葛籠城跡地区の確認調査も引き続き実施して、その成果を史跡の整備につなげていく。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

計画的な公有化を進めるため、地権者等の理解をいただくよう努めること。

下半期

森林組合等との公有化に向けた事務については、時間を要することが想定されるため、出来るだけ、前倒しして取り組めるよう努めること。

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤 敦美

重点事業の概要 [事業名：ふるさと元気塾事業]

○ この事業は、リープロ6「多様な文化が息づくまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組みである文化財の保護と活用を図るために実施する事業です。具体的には、勝尾城筑紫氏遺跡などの文化財や地域特性を活かしたまちづくりを推進するため、市民を対象に、その担い手となるボランティアガイドやアドバイザーを育成します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	4月に「ふるさと元気塾」をふるさと元気塾実行委員会に委託して開講した。22人の会員は、自主的に月1回鳥栖の歴史・文化を学ぶ学習会を行うとともに、5月18日開催の勝尾城筑紫氏遺跡の春の見学会に際しては、事前研修を経てボランティアガイドの活動を行った。
	自己評価	概ね計画どおりに進展している。 月1回の学習会を通して、鳥栖の歴史・文化への理解からさらに踏み込んで、これらの保護と活用へ向けた取組みへの関心が会員に広がりつつある。
	下半期への対応	引き続き鳥栖の歴史・文化を学ぶ学習会を行うとともに、勝尾城筑紫氏遺跡の秋の見学会に向けて、ガイド研修をはじめ市制60周年イベントとして盛り上げるため、紙の甲冑づくりや記念品の製作など準備を進めていく。
下半期	取組実績	上半期に引き続き、自主的に月1回の鳥栖の歴史・文化を学ぶ勉強会を行った。 11月30日開催の勝尾城筑紫氏遺跡の秋の見学会では、事前に研修を実施し、会員17人が史跡ガイド活動に従事した。
	自己評価	ボランティアガイドは、多くの見学会参加者から好評を得ており、ガイド活動により本史跡への関心・理解を高めることができた。
	目標値の達成状況	勝尾城筑紫氏遺跡見学会では、新たな散策ルートの設定など、自主的かつ積極的に活動した。また、月例勉強会や現地研修では鳥栖の歴史や文化財の理解を深め、文化遺産を活かした自主的なボランティア活動の方策を検討した。
	次年度への対応	文化遺産を活かしたまちづくりを推進するため、勝尾城筑紫氏遺跡ガイド研修や鳥栖の歴史・文化を学ぶ勉強会を継続する。また、近隣市町の団体との交流等も通して、自主的なボランティア活動の機会を増やしていく。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

ガイド研修等を進め、ふるさと元気塾実行委員会の協力のもと、秋の見学会の成功に努めること。

下半期

今後も、様々な意見交換等を重ねながら、事業の推進を図ること。

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤 敦美

重点事業の概要 [事業名：各種講座・展示会開催事業]

○ この事業は、リープロ6「多様な文化が息づくまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組みである歴史的資料の保存・公開を図るために実施する事業です。具体的には、市民を対象に、古文書講座や歴史講座の開催や、展示会等による文化財の公開活用を行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	4月に古文書講座（全24回）を、6月に「鳥栖の集落と道」をテーマに鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座（全8回）を開講した。9月末現在、古文書講座は延べ166名、歴史・文化講座は延べ130名の参加者があった。また、6月に市立図書館で昨年度実施した発掘調査の成果展を開催し、約800人が観覧した。
	自己評価	概ね計画どおりに進展している。古文書講座、歴史・文化講座ともに毎回多数の参加者があり、新たな参加者も増えてきている。また、成果展は出土品が新聞等で話題となったこともあり、例年の成果展の倍近い多数の観覧者が訪れた。
	下半期への対応	引き続き多数の方が参加できる充実した内容の講座等を開催し、郷土の歴史的資料などの文化財に対する理解を広めていく。
下半期	取組実績	今年度は、古文書講座が延べ350名、歴史・文化講座が延べ250名の参加があった。また、268号機関車公開は600人、勝尾城筑紫氏遺跡見学会（春・秋）は274名、装飾古墳見学会は延べ258人の来訪者があった。
	自己評価	講座、見学会共に多数の参加者があり、鳥栖市の歴史的文化遺産についての理解を広めることができた。
	目標値の達成状況	今年度の各種講座参加者は延べ600名、見学会・展示会の参加者は1,932人、合計2,532人となり、目標値の1,500人を大きく上回った。
	次年度への対応	引き続き本市の歴史的文化遺産を活用した内容の展示会や講座、見学会等を開催して、郷土の歴史や文化に対する再認識や理解を広める機会を提供していく。とくに展示会については通年的展示に向け、具体的方法を検討する。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

計画的な講座の開催に努めるとともに、図書館やサンメッセ鳥栖を利用した、市内の遺跡等の出土品の展示会等の開催について検討すること。

下半期

図書館やサンメッセ鳥栖を利用した、市内の遺跡等の出土品の展示会等について来年度開催計画等について取組みを進めること。